



4/9日
県議選

憲法と平和、くらしをこわす岸田政権に「ノー」を 党派をこえて 今度は **しばた憲子**で

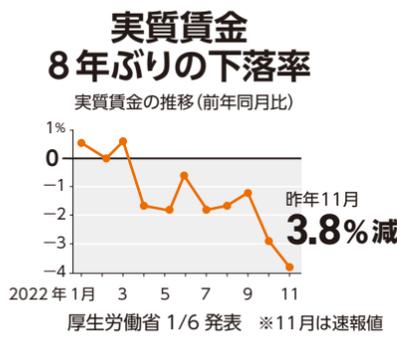
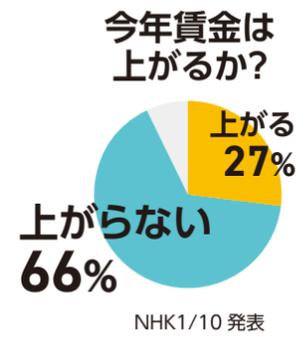
● 1954年旧四賀村（現松本市）生まれ ● 国立松本病院看護学校
卒、国立がんセンター勤務を経て国立松本病院看護婦長、塩尻協立
病院総看護師長など歴任 ● 現在、中信健康友の会塩尻連絡会事務局
長 ● 家族は夫の柴田博市議と二人暮らし ● 趣味は、うたごえ、ヨガ

命、第一 看護の心で県政へ **しばた憲子**



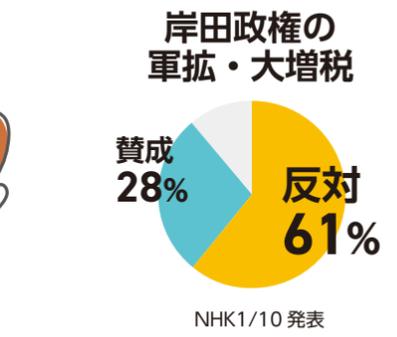
民主長野2023年2月・3月号外
日本共産党長野県委員会
長野市若里 1-12-7
TEL.026-226-8376
日本共産党の見解を紹介します

自民・公明政権のもと日本は30年も賃金が上がらない国になってしまいました。コロナ禍と物価高騰でさらに生活はひっ迫、実質賃金は下がっています。世界90を超える国がコロナ対策で消費税（付加価値税）の税率を上げています。「軍拡より、賃上げ。暮らし優先を」この声を広げましょう。



賃金あげて、消費税さげると、
なにより優先、みんなの生活

広がる「戦争反対」の声
タモリさんの「新しい戦前」発言や吉永小百合さんの元旦インタビューが話題になり、自民党重鎮の河野洋平元総裁や古賀誠元幹事長、山崎拓元幹事長なども、「専守防衛」を大転換する岸田政権に厳しい批判の声をあげています。



岸田政権は、安全保障政策の基本「専守防衛」を投げ捨て、アメリカと一緒に敵基地攻撃をすすめる大軍拡の方針を閣議決定。国会や国民に説明することなく軍事費の倍増、財源としての大増税を決めています。いま必要なのは、軍事対軍事の悪循環を断ち切り、憲法9条を生かした外交戦略を進めることではないでしょうか。

「ジェンダー平等を平和構築の中核に」
(国連事務次長・中満泉さん)
20.11.27 産経新聞
戦争こそは最悪の女性への暴力であり、ジェンダー平等への逆行です。

ストップ
大軍拡・大増税
平和と安全の外交こそ急務

ご存じですか? オール与党が支える 長野県政と県議会

消費税増税を容認し、給食費無料化や福祉灯油を市町村に丸投げの知事
オール与党議会も消費税10%増税に反対する意見書を否決。(2019年2月県議会)

国保料軽減を求める意見書を否決
自民党、公明党などの議員は、国民健康保険料の負担軽減を求める意見書を否決。(2019年6月県議会)

選択的夫婦別姓を拒否
世界では当たり前の制度。推進を求める意見書を否決。(2021年11月県議会)

統一協会と接点もち、政務活動費で行事に参加
長野県でもこれまで20人の県議員が接点を持ち、11人は政務活動費という税金を使っていたことが報道されています。
※自民18人(除名・元職含む)、県公明2人、他に自民予定候補者1人

塩尻市区 定数2 市民の願い、まっとうな声を届ける議席が必要です。 **日本共産党**

塩尻の声を **県政へ** 届けます — しばた憲子



しばた 憲子

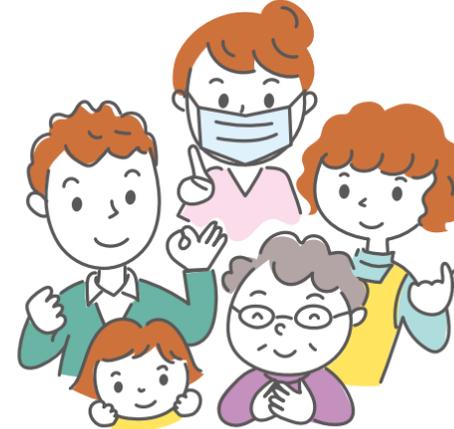
共産党県議団の仕事ぶり

- 子ども医療費は窓口無料が実現。多くの市町村で18歳までに拡大
- すべての学校にエアコン設置
- 被災者生活支援制度で、半壊・中規模半壊にも支援
- 住宅用太陽光発電に補助
- 精神障がい者の医療費助成の拡大
- 学校給食パンは100%国産に
- コロナ感染対策 検査と補償を繰り返し提案、実現

県議会に行けば、**県政が変わります**

願い実現の大きな力になります

- コロナ対策、検査と補償の抜本的強化。医療、介護従事者の待遇改善
- ジェンダー平等、男女の賃金格差是正
- 買い物難民解消へ、地元商店街支援
- 気候危機打開、再生エネルギーへの転換
- 農業の価格保障、所得補償の充実
肥料と飼料高騰への補助の拡充
- 漆器産業の後継者育成へ、財政支援を
- 洗馬岩垂などの春の砂塵対策強化
- 片丘バイパス、北小野バイパス促進
- 郷原街道の歩道段差解消



行政のチェック役として

- 住民合意のない産廃処理施設は、きっぱり反対。地元の声を尊重します。
- 行政の無駄遣いをチェックします。

政治を動かす力が大きくなります

日本共産党は、市民と野党の共闘を誠実に追求。
昨年の参院選も野党統一候補が勝利しました。



子育て支援 全国一めざして

- 1 小中学校の給食費無料**
すでに県内の20を超える自治体が無料化を進めています。県の支援があれば、一気に広がります。
- 2 子どもの国保料無料**
国保料の均等割りは、18歳まで無料にします。
- 3 高校・大学などの給付型奨学金の抜本的拡充**

財源はあります。

長野県の年間予算は**1兆円余**。自由に使える基金はコロナ禍のもとでも増え続け**640億円**もあります。

(財政調整基金402億円、減債基金238億円：R3年)

期待します

中信健康友の会 塩尻連絡会会長
荻無里立人さん

長引くコロナ・物価高騰そして軍事費2倍化の今、平和と暮らしを守る議員が必要です。無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす塩尻協立病院で、総看護師長として先頭に立ってきたしばた憲子さんに期待します。



松本歯科大学
名誉教授
笠原 浩さん

高齢者医療の一部負担金の引き上げなど「老人いじめ」を強行する自民党政権にストップをかけなければなりません。まずは、医療介護の現場を熟知しているしばた憲子さんに、県政の場で頑張っていただくようではありませんか！



党県会議員団 団長
もうり栄子さん

人間の尊さを知っている人、看護師として患者の命と向き合ってきたしばた憲子さん。誰よりも多様な人を大切にできる懐の深い人です。縁の下の力持ちとしてみんなを支えてきた力を今度は市民の最前線で希望ある社会のために発揮することを期待します。